

1. 事業説明シート

(区分) 国補 県単

事業名	道路事業〔緊急道路整備改築事業（国補）〕	事業箇所	北杜市白州町白須	地区名	(一) 駒ヶ岳公園線（白須）	事業主体	山梨県
-----	----------------------	------	----------	-----	----------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景
本路線は、北杜市白州町大坊を起点に北杜市白州町白州柳原に至る全長約5.6kmの一般県道であり、周辺地域には尾白川渓谷を代表とした多くの清流を有し、道の駅はくしゅうや名水公園などに多くの観光客が来訪する。近年は、沿道に介護施設や住宅団地などが建設され、交通量が増加傾向にある。また、当該区間は、白州小学校の通学路に指定されているが、一部歩道が未整備であり、地域や小学校から早急に整備を進めるよう要望されている。

②整備目標・効果

□主要目標 ○歩行者等の安全性の確保

- 歩行者・自転車交通量 32人台/12h (H27時点) < 93人台/12h以上(平日)※
- 自動車交通量 1,461台/12h (H27時点) < 3,428台/12h以上(平日)※
- 通学路指定 有り
- 園児、児童、障害者等交通弱者の交通量 20人/日(聞き取り) < 40人/日
- 小中学校からの距離 220m < 概ね1km以上
- 現況の歩道幅員 一部歩道なし < 1.4m※

※評価基準値

□副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上

- 道路改良率 47.0%(R3道路現況表) < 64.0% ※
- 混雑時走行速度 39.4km/h(H27時点) > 30km/h ※

※評価基準値

□副次効果 ○バリアフリー化の促進（車椅子で通行可能な幅員の確保）

(2) 整備内容

①整備内容 道路改良 L=300m W=5.5(10.0)m

②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和9年度

④総事業費 約300百万円（国費160百万円(5.35/10)県費140百万円(4.65/10)）

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和4年度	測量・設計	15 百万円
令和5年度	用地測量	15 百万円
令和6年度	用地買収	90 百万円
令和7年度	道路改良工事	120 百万円
令和8年度	道路改良工事、舗装工事	50 百万円
令和9年度	舗装工事	10 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

交差点改良工（白州農協前交差点）・H11～H14・2.3億円
道路改良工（白州中学校前）・H23～H28・0.8億円

(3) 事業の妥当性評価

①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 妥当 妥当でない
・一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い。

②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 妥当 妥当でない
・県道の改築であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。

③経済妥当性 妥当 妥当でない

総事業費	300 百万円	工期	R4～R9	基準年	R3
経済効率性	費用	256 百万円	便益 375 百万円		
	建設費	236 百万円	走行時間短縮	302 百万円	
	維持管理費	20 百万円	走行経費減少	21 百万円	
			交通事故減少	43 百万円	
			その他※	9 百万円	
B/C		1.4			

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益
費用便益比（B/C）は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない
・当箇所は未改良区間であり、道路改良により歩行者等の安全を確保する必要がある。

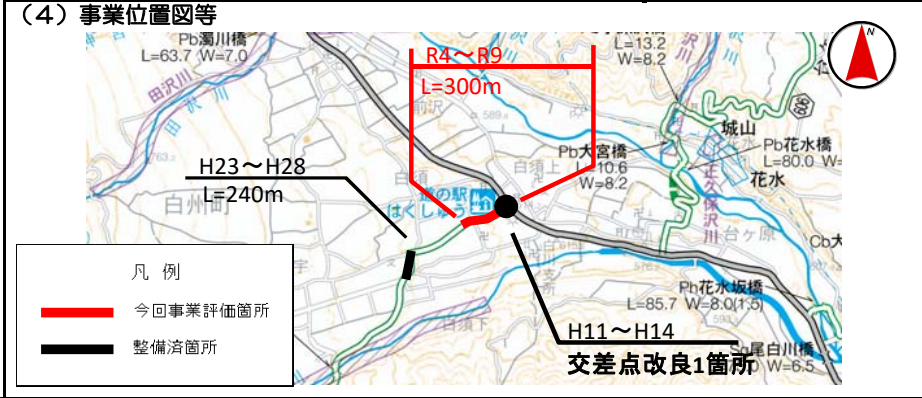
⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない
・現道敷地を有効活用することで周辺への影響をなるべく小さくするとともに、経済性に優れた最も妥当な計画とした。

⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない
・法面切り土及び掘削を必要最小限に抑え環境面に配慮する。

⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない
・地元地域や白州小学校から道路拡幅の早期実施の要望あり

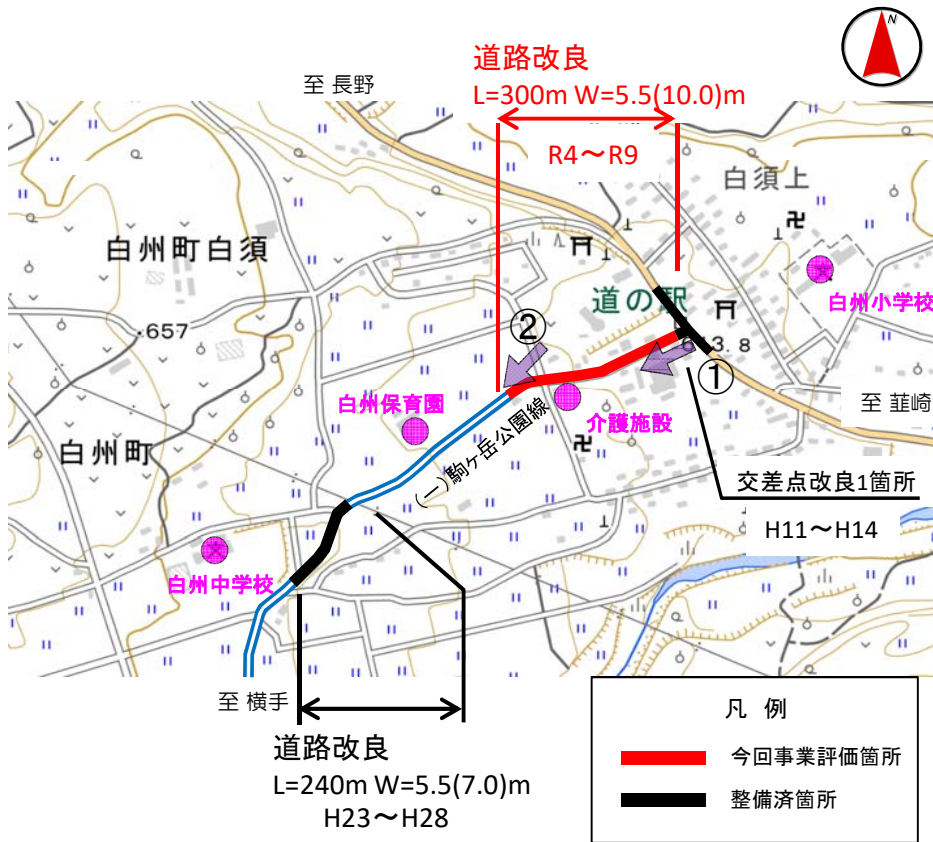
総合評価

[貢献度ランク：a]



2. 添付資料シート

【平面図】



【写真①】



【写真②】



【標準横断図】

改良前



改良後

